



ニュースリリース 平成 26年 10月 8日

事業協創プロジェクト「アクションJAT」の開始について



常陽銀行（頭取 寺門 一義）は、このたび、株式会社東邦銀行（頭取 北村 清士）、独立行政法人産業技術総合研究所（理事長 中鉢 良治）と連携し、事業協創プロジェクト「アクションJAT」を開始いたします。また、あわせてプロジェクトの参加企業を募集しますので、下記のとおりお知らせいたします。

本プロジェクトは、産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所（以下、産総研）が求める技術ニーズと地元企業が有する技術等のマッチングを図ることで、地元企業のビジネス機会、および産学連携機会の創出を支援するものです。

当行は、今後とも、地域のものづくり企業の競争力強化、新たな企業価値の創出に向けたさまざま支援を実施してまいります。

記

1. 名称	事業協創プロジェクト「アクションJAT」 ※産業技術総合研究所（略称 AIST）を中心に、当行（JOYO）および東邦銀行（TOHO）が連携したプロジェクトであることから、事業協創プロジェクト「アクションJAT（ジャット）」といたしました。
2. 日時	オリエンテーション 平成 26年 11月 5日（水）13：00～16：30 個別マッチング会 平成 27年 2月 26日（木）予定
3. 場所	郡山ビューホテル（福島県郡山市中町 3-1）
4. 概要	【オリエンテーション（技術ニーズ説明会）】 ・「再生可能エネルギーネットワーク開発・実証」「水素キャリア製造・利用」「高効率風車、アセスメント技術」「地熱・地中熱のポテンシャル評価、適正利用」の 4つの分野において、産総研が求める技術ニーズについてご説明いたします。 ・地域のものづくり企業から技術ニーズ・事業アイデアを募集し、産総研が一次選考を行います。 【個別マッチング会】 ・一次選考を通過した企業は、産総研との個別面談を実施いたします。 ・面談後、事業協創が可能な案件について、共同研究・開発に取り組みます。 ・当行グループは、資金面の支援や産学官金連携等により共同研究・開発を支援するとともに、再生可能エネルギーを事業領域とする大手川下企業との連携を図り、将来的な事業化も視野に入れたサポートを行います。
5. 主催	株式会社常陽銀行、株式会社東邦銀行、独立行政法人産業技術総合研究所
6. 後援	福島県、郡山市、経済産業省関東経済産業局、経済産業省東北経済産業局、株式会社常陽産業研究所、一般財団法人とうほう地域総合研究所
7. お申込方法	当行本支店にて受付
8. 参加費	無 料

ベストパートナーバンク



求ム!



すべてを地域のために

東邦銀行

事業協創プロジェクト 第2弾

① 新技術

② 新研究・開発パートナー

③ 新資機材の製造委託先

未来協創プロジェクト **PLUS**  [貴社]と[産総研]による
事業協創プロジェクト

アクション J A T

Joyo Bank
常陽銀行

Toho Bank
東邦銀行

 **AIST**
National Institute of
Advanced Industrial Science and Technology

産総研
福島再生可能エネルギー研究所

まずは!
参加!

1st アクション

産総研 福島再生可能エネルギー研究所からの
「オリエンテーション」に参加。

2014年11月5日(水) 13:00～16:30 (開場 12:30)

郡山ビューホテル 福島県郡山市中町3-1

次の10年を協創します、
お客さまと共に。

next X

10年ロードマップ協創プロジェクト [ネクストテン]

求ム！パートナー殿。

産総研（独立行政法人 産業技術総合研究所）は、産業技術分野におけるさまざまな研究開発を総合的に行う、日本最大規模の公的研究機関です。

その産総研が、政府の「東日本大震災からの復興の基本方針（平成23年7月）」等を受け、「世界に開かれた再生可能エネルギーの研究開発の推進」と「新しい産業の集積を通じた復興への貢献」を目的に、平成26年4月、福島県に設立したのが、「産総研 福島再生可能エネルギー研究所」です。

今回実現することになった「アクションJAT」は、具体的にはこの「産総研 福島再生可能エネルギー研究所」との事業展開を後押しする取り組みです。

産総研という名前を聞き、その規模の大きさ、レベルの高さに、思わず躊躇される企業の皆さまが多いかと思いますが、そんなことはありません。

産総研は、日本最大級の公的研究機関として、国内の産学官連携によるオープンイノベーションハブ機能を担う研究機関です。また最近では、より「わかりやすい産総研」を目指し、産業界や社会のニーズに即そよう応えるための変革に取り組んでおります。今回の「アクションJAT」の実現も、産総研のそういった熱意の表れにほかなりません。

「産総研 福島再生可能エネルギー研究所」が求める研究・開発テーマは左記の通りです。貴社の技術と照らし合わせ、少しでもピンとくるものがあれば、ぜひお気軽に、そして、積極的にご参加ください。貴社の技術が、思いがけない組み合わせ、展開を生み出すチャンスです。

***すべての工程への参加は無料です。**

研究・開発の
テーマは4つです。
もちろん、意外な
組み合わせや
アイデアも大歓迎！
お気軽にご参加を。



National Institute of
Advanced Industrial Science and Technology

独立行政法人 産業技術総合研究所
福島再生可能エネルギー研究所

産総研 再生可能エネルギー 検索



研究・開発テーマは4つ。

テーマ領域

産総研 福島再生可能エネルギー研究所が求める具体的な技術、事業内容

① 再生可能エネルギーネットワーク開発・実証

ネットワークの運用	高速かつ頑健なセンシング・制御技術
天候予測	気象庁GPVデータを用いた翌日の日射予測の高精度化技術 衛星画像、レーダーアメダス等を用いた日射量の面的リモートセンシング技術
多変量解析、予測	予測精度向上のための数値シミュレーションと実測値の気象データ同化技術 HEMS、BEMS向けの電力需要の予測技術

② 水素キャリア製造・利用

安全性、保安	水素脆化対応の配管、エンジン部品等の開発
特殊容器技術	熱交換器・触媒一体容器の開発 可動壁付等の新規容器の開発
熱マネジメント	高効率熱交換器の開発

③ 高効率風車、アセスメント技術

設計試作技術	高性能風車要素、及びその要素技術を搭載した風車の設計と試作
メンテナンス	風車の異常検知技術
環境対策技術	風車騒音計測技術
能動制御技術	風車の能動制御に活用できる高性能センサー、高性能流体制御デバイス等の開発

④ 地熱・地中熱のポテンシャル評価、適正利用

高温センシング	250～500℃といった高温の坑井内(2～5km)で使える各種計測ツールの開発
シミュレーション	地下の岩石力学、地球化学、流体科学的シミュレーション技術の開発
温泉モニタリング	温度・流量・電気伝導度・pH等を測定できる簡易型モニタリングツールの開発
温泉発電パートナーの開拓	90℃以上の高温源泉でバイナリー発電を行う自治体・企業の開拓事業
坑井掘削	地中熱用坑井掘削技術、輸送の簡便なコンパクトな掘削機器(車両一体型等)開発
材料	地中熱坑井用パイプ材料 高温地熱井(～500℃)用パイプ材料 高温(～500℃)用シール材料 高温(～500℃)用電子回路素子、部品
地中熱開発パートナーの開拓	地域冷暖房・多目的利用など大規模な地中熱利用を行う自治体・企業の開拓事業

共通基盤的技術

リモートモニタリング、テレメトリー技術	ICT技術やモバイル技術を使ったデータの転送技術、装置のリモート制御技術
異種複数装置の集中制御技術	各種のプロトコルで動く装置を集約的に集中制御ができる技術
材料の劣化分析、解析技術	風車や太陽電池架台、エンジンを構成している部品等の金属、風車用翼のFRP、地中熱の井戸用パイプ材料などの分析解析技術
構造材料解析、熱解析技術	システムを構成する構造材料やシステム中の熱収支、熱伝導を考慮した設計技術

*産総研の研究に必要な「資機材の製造委託先」に対するニーズも説明いたします!

飛躍へのアクション!

未来協創
プロジェクト PLUS

「貴社」と「産総研」による
事業協創プロジェクト

アクション JAT

1

産総研からの 「オリエンテーション」 に参加エントリー。

～10月31日まで

まずは、産総研からの「オリエンテーション」に参加エントリーしましょう。このパンフレット裏面の「エントリーシート」に必要情報をご記入の上、貴社の常陽銀行担当者へ直接お渡しいただくか、FAXでお申し込みください。

FAX先：029-300-2606

常陽銀行 地域協創部



2

産総研からの「オリエンテーション」。

郡山ビューホテル
2014年11月5日(水)

まずは
参加!



第1部 13:00～ オープニングセレモニー

主催者挨拶

常陽銀行頭取 寺門 一義

東邦銀行頭取 北村 清士

産業技術総合研究所 副理事長 金山 敏彦

限られた時間です。
「これは訊きたい」
という質問をぜひ
ご準備ください。

第2部 13:30～

福島再生可能エネルギー研究所 (FREA) の紹介

産業技術総合研究所 所長 大和田野 芳郎

14:00～

4つの分野の研究テーマの紹介、および 開発パートナー企業に対して求める技術について

(各分野30分)

① 再生可能エネルギーネットワーク開発・実証

FREA エネルギーネットワークチーム長 大谷 謙仁

② 高効率風車・アセスメント技術

FREA 風力エネルギーチーム長 小垣 哲也

③ 地熱の最適利用、地中熱ポテンシャル評価・システム最適化

FREA 地熱チーム長 浅沼 宏

FREA 地中熱チーム長 内田 洋平

④ 水素キャリア製造

FREA 水素キャリアチーム長 辻村 拓

第3部 16:00～

名刺交換会



主催者の役割

エントリーのご案内

事前準備や進行などを担当

*すべての工程への参加は無料です。

提案書作成の
ポイントは
「端的」、「具体的」
「写真・図版」、そして
「第三者の目」!

3

「技術提案書」の作成。

～12月下旬まで

「オリエンテーション」参加後、「提案書フォーム」を電子メールでお送りします。貴社の技術や製品のアピールポイントをまとめてください。「自社の強みのコアとなるものは何か」を、柔軟な視点で洗い出し、貴社イチオシの技術として「技術提案書」を作成ください。技術提案書は、端的かつ具体的、写真などを使って「徹底的にわかりやすく」することが肝心です。

各社からの提案内容を産総研が一次選考を行い、2015年2月に開催される産総研との「個別マッチング会」への参加企業様を選定させていただきます。



提案書のブラッシュアップ
をサポート

産総研によるスクリーニングを経て、個別マッチング会をご案内▼

4

産総研との 「個別マッチング会」 の実施。

会場：
福島再生可能エネルギー研究所
2015年2月26日(木)

貴社の技術の魅力を、産総研の担当者に直接プレゼンテーションしていただきます。

- 産総研との個別面談形式となります。
- 1社あたり30～40分程度の持ち時間内でプレゼンテーションを行います。



交渉をバックアップ

産総研の研究・開発パートナー、製造委託先選ばれた会社にご連絡▼

5

「アクションJAT」 プロジェクト始動!

2015年4月以降

産総研のニーズと貴社の技術やアイデア、想いが一致したら、パートナーとして共同研究・開発が始まります。

研究・開発を
スタート!
ゆくゆくは
事業化を視野に。

常陽銀行グループは、融資、競争的資金活用、産学官金連携などにより研究・開発支援を全力で行うとともに、再生可能エネルギーを事業領域とする大手川下企業とのマッチングも行い、将来的な事業化も視野に入れたサポートを行います。



研究・開発および
事業化推進を全力サポート

2014年11月5日(水)

アクションJAT
「産総研 福島再生可能
エネルギー研究所からの
オリエンテーション」
に参加します。

ご記入の上、FAXにて送付ください。

常陽銀行 地域協創部
FAX.029-300-2606

申込締切:2014年10月31日

貴社名	申込日			2014	年	月	日
所在地	〒						
貴社ご担当者①	所属	役職	氏名				
貴社ご担当者②	所属	役職	氏名				
貴社ご担当者③	所属	役職	氏名				
ご連絡先	電話	FAX					
	Eメールアドレス *特に必須	@					
貴社の 事業内容							

[お申し込み情報の取扱いについて]

エントリーシートに記入いただいた情報は、㈱常陽銀行、㈱常陽産業研究所、㈱東邦銀行、産総研 福島再生可能エネルギー研究所が取得・管理し、次の目的のみに利用いたします。

①本プロジェクトに関連する連絡、②㈱常陽銀行、㈱常陽産業研究所、㈱東邦銀行、産総研 福島再生可能エネルギー研究所からの施策などの各種ご案内



郡山ビューホテル

福島県郡山市中町3-1 TEL.024-924-1111

[車]

東北自動車道「郡山I.C.」より約20分。磐越自動車道「郡山東I.C.」より約20分。駐車場は、ホテル契約駐車場(有料)をご利用ください。

[電車]

JR東北新幹線・東北本線・磐越線「郡山駅」西口より徒歩8分。

[主催] 株式会社 常陽銀行
株式会社 東邦銀行
独立行政法人 産業技術総合研究所

[後援] 福島県
郡山市
経済産業省関東経済産業局
経済産業省東北経済産業局
株式会社 常陽産業研究所
一般財団法人 とうほう地域総合研究所

お問い合わせはこちら

TEL 029-300-2792 FAX 029-300-2606

(株)常陽銀行 地域協創部 担当:白石、宮澤

eメール k-sakaguchi@aist.go.jp

産総研 福島再生可能エネルギー研究所 担当:阪口

銀行記入欄	店番	拠点名	CIF
-------	----	-----	-----